

目次

はじめに	
要旨	
1 オゾン層の状況	1
1-1 全球のオゾン層	1
1-1-1 2006年のオゾン層の状況	1
(解説1) オゾンの平均的な分布とその形成メカニズム	3
(解説2) オゾン量の経年変動に影響を及ぼす自然の要因1(太陽活動とQB0)	5
1-1-2 全球のオゾン層の経年変化とトレンド	6
1-2 日本上空のオゾン層	11
1-2-1 2006年の日本上空のオゾン層の状況	11
1-2-2 日本上空のオゾン層の経年変化とトレンド	14
1-3 南極オゾンホール	17
1-3-1 2006年南極オゾンホールの状況	17
1-3-2 南極オゾンホールの経年変化	21
(解説3) 南極でオゾンホールが発生するメカニズム	25
(解説4) オゾンホールの規模の統計的な推定方法	25
1-4 北半球高緯度のオゾン層	26
1-4-1 2006年北半球高緯度オゾン層の状況	26
1-4-2 北半球高緯度のオゾン層の経年変化	27
(解説5) 北極で南極のようなオゾンホールが発生しない理由	28
(解説6) オゾン量の経年変動に影響を及ぼす自然の要因2(力学的要因)	29
2 紫外線の状況	30
2-1 国内の紫外線	30
2-1-1 2006年の国内の紫外線の状況	30
2-1-2 国内の紫外線の経年変化	31
2-2 南極域における紫外線	33
2-2-1 2006年の南極域における紫外線の状況	33
2-2-2 南極域における紫外線の経年変化	34
(解説7) 紫外線についての知識	35
(解説8) 紫外線対策へのUVインデックスの活用方法	38
付録	39
付録1 解析に使用した観測資料	39
付録1-1 オゾンの地上観測データ	39
付録1-2 オゾンの衛星観測データ	40
付録1-3 紫外線の観測データ	42
付録2 EESC フィッティングによるトレンドの評価	43
付録3 観測装置の較正体制	45
資料	46
資料1 月平均オゾン全量・比偏差 全球分布図(2006年)	46
資料2 南極各国基地におけるオゾン全量推移(2006年)	48
資料3 南半球旬平均オゾン全量分布図(2006年8月~12月)	49
資料4 南極昭和基地における月別オゾン高度分布(2006年)	51
資料5 10月の南半球月平均オゾン全量分布図(1979~2006年)	52
資料6 国内オゾン全量日代表値(2006年)	55
資料7 国内の日最大UVインデックス(2006年)	56
用語解説	57
参考文献	59
オゾン層破壊の科学アセスメント:2006 総括要旨	61